Arcserve UDP 9 動作要件
（エフサステクノロジーズ追加要件）

2024 年 7 月 5 日更新

- 基本的な動作要件は、以下の Arcserve 社サイトを参照ください。

Arcserve Unified Data Protection 9 動作要件 https://support.arcserve.com/s/article/Arcserve-UDP-9-0-Software-Compatibility-Matrix?language=ja

- エフサステクノロジーズが販売する Arcserve UDP 9 製品の動作要件は、Arcserve 社が公開している動作要件に、本ドキュメントの内容が追加されます。
- Arcserve UDP 9 Premium Plus Edition で、Arcserve High Availability 18.0 の機能を提供しています。
- Arcserve UDP 9 Premium Edition／Premium Plus Edition については、下記製品の動作要件もあわせて参照ください。

Arcserve Backup 19 for Windows 動作要件 https://www.fujitsu.com/jp/products/software/partners/partners/arcserve/products/backup/environment/ Arcserve Replication 18.0 for Windows 動作要件 https://www.fujitsu.com/jp/products/software/partners/partners/arcserve/products/replication/environment/

© 2023-2024 Fsas Technologies Inc.

索引

- 適応機種
- 仮想マシンへの導入について
- クラウドへの対応について
  - FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure 対応
  - FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-O 対応
  - FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-V 対応
  - FUJITSU Hybrid IT Service for AWS 対応
- Arcserve UDP Windows Agent
- Arcserve UDP Linux Agent
- UDP コンソール
- 復旧ポイントサーバ
- エージェントレス バックアップ
- 仮想スタンバイ機能
- インスタント VM 機能
- アシュアードリカバリ機能
- ETERNUS CS800 M1 デデュープアプライアンスの対応について

適応機種

- Arcserve 社の動作要件に記載されたハードウェア要件を満たす、以下の機種をサポートします。
  - PRIMERGY （PRIMECLUSTER 環境は除く）
  - PRIMEQUEST 3000／4000 シリーズ
    ※ Arcserve UDP 9 Premium Edition／Premium Plus Edition でサポートします。
- 他社サーバーのサポート条件については、以下をご確認ください。

Arcserve サポート情報「他社サーバー上への Arcserve 製品の導入について」 https://www.fujitsu.com/jp/products/software/partners/partners/arcserve/services

仮想マシンへの導入について

仮想マシン上に製品を導入する場合の留意事項は以下のとおりです。

- VMware ESXi の無償版／無償エディションはサポートしません。
- Nutanix AHV 環境の仮想マシンのエージェントレスバックアップにおいて、Nutanix のボリュームグループの iSCSI 接続を行ったバックアップを行う場合は、Nutanix AHV のライセンスとして「Pro」または、「Ultimate」のライセンスが必要です。
- VMware が提供する機能に関する留意事項は以下のとおりです。
  - VMware vSphere vMotion における切り替え中の動作は保証しません。
  - VMware vSphere High Availability における切り替え中の動作は保証しません。
  - VMware vCenter Site Recovery Manager で本製品を使用する場合、保護サイトと復旧サイトのそれぞれに本製品を導入してください。
- Hyper-V が提供する機能に関する留意事項は以下のとおりです。
  - ライブマイグレーションにおける切り替え中の動作は保証しません。
  - クイックマイグレーションにおける切り替え中の動作は保証しません。
  - フェールオーバーにおける切り替え中の動作は保証しません。
- Linux 仮想マシン機能（KVM）が提供する機能に関する留意事項は以下のとおりです。
  - ライブマイグレーションにおける切り替え中の動作は保証しません。

© 2023-2024 Fsas Technologies Inc.

クラウドへの対応について

- 以下のクラウド環境をサポートします。対応機能等の詳細は、それぞれのリンク先を参照ください。
  - FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure 対応
  - FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-O 対応
  - FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-V 対応
  - FUJITSU Hybrid IT Service for AWS 対応

- クラウド上の仮想マシン上で製品を利用する場合、Arcserve UDP 9 が物理環境でサポートしている OS とアプリケーションをサポートします。

- 復旧ポイントサーバに集約したオンサイトのバックアップデータを、クラウド上に作成した復旧ポイントサーバへ遠隔転送する場合は、オンサイト側とクラウド側のそれぞれの復旧ポイントサーバ間で通信が行えるよう、プライベート接続できる環境が必要です。

- 二次バックアップ先としてオブジェクトストレージを使用することが可能です。
  - 事前にストレージアカウントを作成し、アクセスキーを確認してください。
  - オブジェクトストレージからのベアメタルリカバリは実行できません。
  - オブジェクトストレージの仕様上、二次バックアップには時間を要します。バックアップ対象のデータサイズやファイル数が多い場合には、二次バックアップの周期を開けることを推奨します。
  - 復旧ポイントのコピー利用時に格納したデータをリストアする際は、以下の Arcserve 社サイトの技術情報を参照してください。
    https://support.arcserve.com/s/article/2020032603?language=ja

- 他社クラウドのサポートについては、以下を参照ください。

Arcserve サポート情報「他社クラウド上への Arcserve 製品の導入について」 https://www.fujitsu.com/jp/products/software/partners/partners/arcserve/services

FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure 対応

【FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure 仮想マシン】

FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure 仮想マシン上での利用を、以下の条件でサポートします。

- 以下のコンポーネントおよび機能の利用をサポートします。
  - Arcserve UDP Windows Agent
  - Arcserve UDP Linux Agent
    （注）パスワード認証の環境においてサポート
  - UDP コンソール
  - 復旧ポイントサーバ
  - 仮想スタンバイ
    （注）クラウド(IaaS)側に復旧ポイントサーバを導入した仮想マシンが必要です。
  - インスタント VM
    （注）詳細については「インスタント VM 機能」を参照ください。
- 以下の機能は対応していません。
  - ベアメタルリカバリ
  - テープへのバックアップ
  - エージェントレスバックアップ
  - High Availability

【FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure オブジェクト ストレージ】

以下の機能を使用したバックアップデータの二次バックアップ先として、FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure オブジェクト ストレージを利用できます。

- 復旧ポイントのコピー（バックアップデータの二次バックアップ）

- ファイルコピー（バックアップデータ内の任意ユーザファイルの二次バックアップ）
  （注）ユーザデータのみサポートします。またコピー先からのベアメタルリカバリは実行できません。

《留意事項》

- オブジェクトストレージの仕様上、二次バックアップには時間を要します。バックアップ対象のデータサイズやファイル数が多い場合には、二次バックアップの周期を開けることを推奨します。

FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-O 対応

【FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-O 仮想マシン】

FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-O 仮想マシン上での利用を、以下の条件でサポートします。

- 以下のコンポーネントの利用をサポートします。
  - Arcserve UDP Windows Agent
  - Arcserve UDP Linux Agent
    （注）パスワード認証の環境においてサポート
  - UDP コンソール
  - 復旧ポイントサーバ
- 以下の機能は対応していません。
  - ベアメタル リカバリ
  - テープへのバックアップ
  - エージェントレス バックアップ
  - 仮想スタンバイ
  - インスタント VM
  - High Availability

【FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-O オブジェクト ストレージ】

以下の機能を使用したバックアップデータの二次バックアップ先として、FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-O オブジェクトストレージを利用できます。

- 復旧ポイントのコピー（バックアップデータの二次バックアップ）
- ファイルコピー（バックアップデータ内の任意ユーザファイルの二次バックアップ）
  （注）ユーザデータのみサポートします。またコピー先からのベアメタルリカバリは実行できません。

《留意事項》

- 復旧ポイントのコピー機能に対応するリージョンは以下のとおりです。
  - 東日本リージョン 3（オブジェクト ストレージ [S3 互換]）
  - 西日本リージョン 3（オブジェクト ストレージ [S3 互換]）

© 2023-2024 Fsas Technologies Inc.

- ファイル コピー機能に対応するリージョンは以下のとおりです。
  - 東日本リージョン 1
  - 東日本リージョン 3（オブジェクトストレージ [S3 互換]）
  - 西日本リージョン 1
  - 西日本リージョン 2
  - 西日本リージョン 3（オブジェクトストレージ [S3 互換]）
- オブジェクトストレージの仕様上、二次バックアップには時間を要します。バックアップ対象のデータサイズやファイル数が多い場合には、二次バックアップの周期を開けることを推奨します。

FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-V 対応

【FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-V 仮想マシン】

FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-V 仮想マシン上での利用を、以下の条件でサポートします。

- 以下のコンポーネントおよび機能の利用をサポートします。
  - Arcserve UDP Windows Agent
  - Arcserve UDP Linux Agent
    （注）パスワード認証の環境においてサポート
  - UDP コンソール
  - 復旧ポイントサーバ
  - ベアメタルリカバリ
    ※ ベアメタルリカバリ実行時は、Arcserve UDP で作成した BMR ISO イメージを仮想マシンにマウントして起動します。詳細手順は以下のサイトを参照してください。
    クラウド操作方法ガイド(コンピューティング)「ISO イメージ」
    https://docs.nifcloud.com/cp/help/

    ※ 復旧対象の仮想マシンを ISO イメージから起動させるため、仮想マシンの BIOS 設定にて、"BOOT" 設定の最上段を "CD-ROM" に設定する必要があります。
    ※ Arcserve UDP は、ISO イメージからの起動後に動作するベアメタル リカバリについてサポートします。
- 以下の機能は対応していません。
  - テープへのバックアップ
  - エージェントレスバックアップ
  - 仮想スタンバイ
  - インスタント VM
  - High Availability

【FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-V オブジェクト ストレージ】

以下の機能を使用したバックアップデータの二次バックアップ先として、FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-V オブジェクト ストレージを利用できます。

- 復旧ポイントのコピー（バックアップデータの二次バックアップ）
- ファイルコピー（バックアップデータ内の任意ユーザファイルの二次バックアップ）
  （注）ユーザデータのみサポートします。またコピー先からのベアメタルリカバリは実行できません。

《留意事項》

- オブジェクトストレージの仕様上、二次バックアップには時間を要します。バックアップ対象のデータサイズやファイル数が多い場合には、二次バックアップの周期を開けることを推奨します。

FUJITSU Hybrid IT Service for AWS 対応

【FUJITSU Hybrid IT Service for AWS 仮想マシン】

FUJITSU Hybrid IT Service for AWS 仮想マシン上での利用を、以下の条件でサポートします。

- 以下のコンポーネントおよび機能の利用をサポートします。
  - Arcserve UDP Windows Agent
  - Arcserve UDP Linux Agent
    （注）パスワード認証の環境においてサポート
  - UDP コンソール
  - 復旧ポイントサーバ
  - 仮想スタンバイ
    （注）クラウド(IaaS）側に、復旧ポイントサーバを導入した仮想マシン、EC2 プロキシの役割をもつ仮想マシン、および Arcserve UDP Agent が必要です。
  - インスタント VM
    （注）詳細については「インスタント VM 機能」を参照ください。

- 以下の機能は対応していません。
  - ベアメタルリカバリ
  - テープへのバックアップ
  - エージェントレスバックアップ
  - High Availability

【FUJITSU Hybrid IT Service for AWS オブジェクト ストレージ】

以下の機能を使用したバックアップデータの二次バックアップ先として、FUJITSU Hybrid IT Service for AWS オブジェクトストレージを利用できます。

- 復旧ポイントのコピー（バックアップデータの二次バックアップ）
- ファイルコピー（バックアップデータ内の任意ユーザファイルの二次バックアップ）
  （注）ユーザデータのみサポートします。またコピー先からのベアメタルリカバリは実行できません。

《留意事項》

- オブジェクトストレージの仕様上、二次バックアップには時間を要します。バックアップ対象のデータサイズやファイル数が多い場合には、二次バックアップの周期を開けることを推奨します。

Arcserve UDP Windows Agent

- 以下の環境および機能は対応していません。
  - Windows Server 2008、Windows Server 2008 R2
  - クライアント OS 環境(Windows 7、Windows 8.1、Windows 10、Windows 11 等)
  - Windows Server 2019 以降のクラスターセット環境
  - USB メモリをベアメタルリカバリ用メディアとする運用

- 以下の機能は、復旧ポイントサーバへのバックアップ運用時のみ提供します。
  - 重複排除機能
  - レプリケート

- 物理マシンから仮想マシンへのベアメタルリカバリ（P2V：Physical to Virtual）、インスタント VM、および仮想スタンバイは、仮想マシン上での OS 起動までを提供します。アプリケーションの起動等その後の OS 動作は保証しません。

- Oracle RMAN を使用したバックアップ機能は、以下の製品で対応します。
  - Arcserve UDP 9 Premium Edition -Socket
  - Arcserve UDP 9 Premium Plus Edition - Socket

Arcserve UDP Linux Agent

- サポートするディストリビューションは、以下のとおりです。
  - Red Hat Enterprise Linux
  - SUSE Linux Enterprise Server
    （SUSE Linux Enterprise Server for SAP Applications を除く）

- 以下の環境および機能は対応していません。
  - クラスター環境
  - 暗号化されたボリュームのバックアップ
  - RAW デバイス領域のバックアップ
  - 仮想スタンバイ機能
  - リモートディスク(クラウドストレージを含む）へのファイルコピー機能・ファイルアーカイブ機能
  - 復旧ポイントのコピー機能
  - Oracle RMAN を使用したバックアップ機能
  - クラウドが提供するオブジェクトストレージをバックアップ先とした運用

© 2023-2024 Fsas Technologies Inc.

- ローカル接続の RDX データカートリッジを使用したベアメタルリカバリ
- Btrfs フォーマットを使用した環境のベアメタルリカバリ
- Btrfs フォーマットで構成されたマシンによるエージェントバックアップサーバ
- Red Hat Enterprise Linux 9.x 環境のベアメタルリカバリ、インスタント VM、アシュアードリカバリ
- Docker で構成されたパーティションがある環境

- 以下の機能は、復旧ポイントサーバへのバックアップ運用時のみ提供します。
  - 重複排除機能
  - 継続的な増分バックアップ
  - テープへの二次バックアップ
  - レプリケート

UDP コンソール

- 以下の環境は対応していません。
  - Windows Server 2008 R2
  - Windows Server 2012 / 2012 R2

復旧ポイントサーバ

- 以下の環境は対応していません。
  - Windows Server 2008 R2
  - Windows Server 2012 / 2012 R2

- 復旧ポイントサーバを使用した Linux 環境のバックアップにおいて、以下の機能は提供されません。
  - 仮想スタンバイ
  - ファイルコピー（クラウドオブジェクトストレージを含む）
  - 復旧ポイントのコピー（クラウドオブジェクトストレージを含む）

- 以下の運用を行う場合は、RPS データストアの格納先は、復旧ポイントサーバのローカルディスクとしてください。
  - ネットワークセグメントを指定したバックアップ/リストアを行う場合
  - リバースレプリケーションを使用する場合

エージェントレス バックアップ

- エージェントレスバックアップによる仮想化環境上の Linux 仮想マシンのバックアップデータから、ファイル・フォルダ単位でリストアを行う場合、別途 Arcserve UDP Linux Agent がインストールされたバックアップサーバ（Linux）が必要です。

- Hyper-V VDI 環境上の仮想マシンに対するエージェントレスバックアップはサポート対象外です。

- PRIMEFLEX for VMware vSAN で提供している ServerView Infrastructure Manager for PRIMEFLEX のバックアップを、以下の条件でサポートします。
  - 仮想マシンを停止した状態でのエージェントレス バックアップ

- PRIMEFLEX for Nutanix Enterprise Cloud（Nutanix AHV / VMware ESXi）環境でのエージェントレス バックアップは、以下の製品で対応します。
  - Arcserve UDP 9 Advanced Edition for Nutanix - Socket
  - Arcserve UDP 9 Premium Edition - Socket
  - Arcserve UDP 9 Premium Plus Edition – Socket

仮想スタンバイ機能

- 本機能の対象は、以下の全ての条件に合致する OS に限ります。
  - エフサステクノロジーズがゲスト OS としてサポートする OS
  - Arcserve 社がサポートする OS

- PRIMEFLEX for Nutanix Enterprise Cloud（Nutanix AHV / VMware ESXi）環境での仮想スタンバイ機能は、以下の製品で対応します。
  - Arcserve UDP 9 Advanced Edition for Nutanix - Socket
  - Arcserve UDP 9 Premium Edition - Socket
  - Arcserve UDP 9 Premium Plus Edition – Socket

《留意事項》

- 本機能を使用するために、Nutanix クラスター上にモニタサーバの役割となる仮想マシン（Windows Server 2016 以降）が必要です。

インスタント VM 機能

- 本機能の対象は、以下の全ての条件に合致する OS に限ります。
  - ・ エフサステクノロジーズがゲスト OS としてサポートする OS
  - ・ Arcserve 社がサポートする OS

- 本機能を VMware vSphere ESXi 環境で使用する場合は、バックアップ先は NFS 領域である必要があります。

- 復旧する環境の OS が Linux の場合、Red Hat Enterprise Linux のみサポートします。また別途 Arcserve UDP Linux Agent が導入されたマシンが必要です。
  - ・ エフサステクノロジーズがゲスト OS としてサポートする OS
  - ・ Arcserve 社がサポートする OS

- インスタント VM で起動した仮想マシンに対して仮想マシン内のデータを更新した場合は、その変更量に応じたディスク領域が必要です。

- PRIMEFLEX for Nutanix Enterprise Cloud（Nutanix AHV / VMware ESXi）環境でのインスタント VM 機能は、以下の製品で対応します。
  - ・ Arcserve UDP 9 Advanced Edition for Nutanix - Socket
  - ・ Arcserve UDP 9 Premium Edition - Socket
  - ・ Arcserve UDP 9 Premium Plus Edition – Socket

《留意事項》
  - ・ 本機能は Linux 仮想マシンのみ対応します。
  - ・ Nutanix AHV 5.15 環境において、UEFI で起動される Linux 環境はサポートしません。
  - ・ 本機能を使用するために、Nutanix クラスター上に Arcserve UDP Linux Agent が導入された仮想マシンが必要です。

- FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure および FUJITSU Hybrid IT Service for AWS へのインスタント VM を行う際の前提条件は以下のとおりです。
  - ・ クラウド(IaaS)側に復旧ポイントサーバの機能をインストールした仮想マシン（Windows）、および、エージェントバックアップサーバ（Linux）が必要です。
  - ・ サポートするバックアップ対象は、以下のとおりです。

【凡例】○：サポート ×：未サポート

バックアップデータ		インスタント VM 先のクラウド環境	
バックアップ対象	バックアップ方式	FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure	FUJITSU Hybrid IT Service for AWS
Windows 環境	Arcserve UDP Agent	×	×
	エージェントレスバックアップ	○	×
Linux 環境※1	Arcserve UDP Agent	○※2	○
	エージェントレスバックアップ	○※2	○

※1：XFS ファイルフォーマットのボリュームがある Linux 環境は未サポート

※2：UEFI で起動される Linux 環境、および複数のディスクに跨る Btrfs ファイルシステムを持つ Linux 環境は未サポート

アシュアードリカバリ機能

- PRIMEFLEX for Nutanix Enterprise Cloud（Nutanix AHV / VMware ESXi）環境でのアシュアードリカバリ機能は、以下の製品で対応します。
  - Arcserve UDP 9 Advanced Edition for Nutanix - Socket
  - Arcserve UDP 9 Premium Edition – Socket
  - Arcserve UDP 9 Premium Plus Edition – Socket

《留意事項》

- 本機能は Linux 仮想マシンのみ対応します。
- 本機能を使用するために、Nutanix クラスター上に Arcserve UDP Linux Agent が導入された仮想マシンが必要です。

ETERNUS CS800 M1 デデュープアプライアンスの対応について

- バックアップデータの格納先として、ETERNUS CS800 M1 デデュープアプライアンスの利用を、以下の条件でサポートします。
  - 復旧ポイントサーバの RPS データストア配置先として利用する場合、RPS データストアの重複排除設定（Arcserve UDP 製品独自の重複排除設定）は有効にしないでください。